

## 重要文化財（建造物）の指定について

- |             |  |
|-------------|--|
| 1 名 称       | つるしまとうだい<br>釣島灯台                                 |
| 2 所 有 者     | 海上保安庁・松山市  |
| 3 所 在 地     | 松山市泊町 1433 番地 1・2                                |
| 4 構 成 物 件   | 灯台、旧官舎、旧倉庫<br>附：石垣 2 所、旧日時計 1 基、断簡類 200 点、図面 1 枚 |
| 5 建 築 年 代   | 明治 6 年（1873）                                     |
| 6 指 定 基 準   | 歴史的価値の高いもの                                       |
| 7 特 徴 ・ 評 価 |  |

釣島は、伊予灘と安芸灘の境界、釣島水道に浮かぶ周囲 2.6km、標高 152m の小島である。釣島水道は瀬戸内航路の要衝であり、大小の船舶が昼夜を問わず往来している。

釣島灯台は、釣島の北西、釣島水道を一望する海拔約 60m の高台に建つ白色の灯台であり、「日本灯台の父」といわれる英国人技師ブラントンの設計による洋式灯台で、花崗岩製の灯塔の上に鉄製灯室と銅製 2 重丸屋根の灯籠が載り、灯塔の一階北側には扇形の石造付属舎がつく。

灯台の南東には、管理人たちの宿舎であった旧官舎及び旧倉庫が残る。灯台と同じくブラントンの設計によるもので、旧官舎・旧倉庫共に石造、小屋組みは洋式のクイーンポストトラスとする。これら 2 棟は、平成 9 年（1997）に松山市によって保存修理が行われ、旧官舎の壁の下地に使われていた紙からは、明治初期の灯台の様子を伝える日誌や備品台帳等が発見された。

日本近代灯台技術の礎を築いたブラントンが立地選定から建設を主導した国内最初期の洋式灯台であり、航行の難所である伊予灘と安芸灘を行きかう船舶の安全を明治初期より守り続けてきた灯台として、近代海上交通史上、価値が高い。また、付属する旧官舎や旧倉庫、敷地を構成する石垣等が良好な状態で残ることも貴重である。



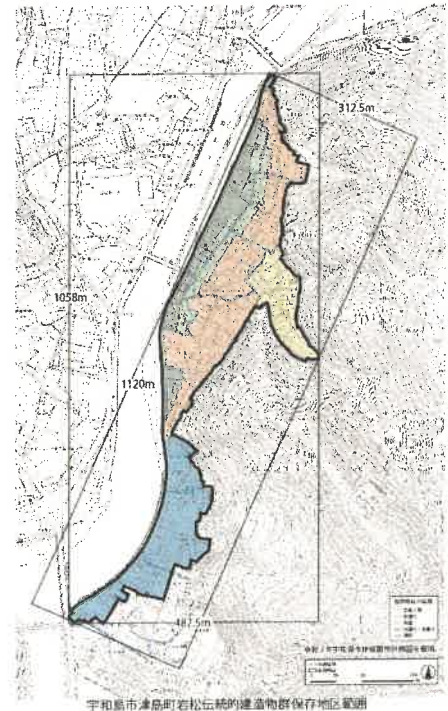
釣島灯台



旧官舎

## 重要伝統的建造物群保存地区の選定について

- |        |  |
|--------|--|
| 1 名称   | うわじましつしまちょういわまつでんとうてきけんぞうぶつぐんぼんちく<br>宇和島市津島町岩松伝統的建造物群保存地区                      |
| 2 面積   | 約 10.6ha   |
| 3 所在地  | 宇和島市津島町岩松の若宮、<br>新川岸、上本町1、土居ノ奥、<br>浜田町、下本町1、下本町2の<br>全域、御幸、上本町2、港町2、<br>港町3の一部 |
| 4 構成物件 | 伝統的建造物（建築物）162件、<br>伝統的建造物（工作物）65件   |
| 5 建築年代 | 江戸時代～昭和後期  |
| 6 種別   | 在郷町  |
| 7 選定基準 | 伝統的建造物群及びその周囲の環<br>境が地域的特色を顕著に示してい<br>るもの                                      |



### 8 特徴・評価

津島町岩松は、宇和島市南部を流れる岩松川が北灘湾に流れ込む河口に位置する地域である。貞享元年（1684）、豪商小西家初代が移り住んだことを契機に、物資の集積地として、また、新田・塩田開発や、製蠟業、酒造業等で栄え、町並みが形成されていった。

保存地区は、岩松川と天が森に囲まれた岩松川左岸の範囲である。江戸～大正、昭和初期、戦後の建物が混在して建つ。通り沿いに開口部をもつ町屋、庭を中心に建物を配した農家建築、洋風意匠を取り入れた店舗や医院などがある。主要な建築物は町屋で、切妻平入の二階建、正面の庇を彫刻で飾った持ち送りで支え、二階は座敷として開口部に手摺を設ける。

伝統的建造物や水路を形成する石垣等が、河川や周囲の急峻な山林と一体となって残り、歴史的風致を良く伝えている。



## 国登録有形文化財（建造物）の登録について

- 1 名称 きゅうたかはしけじゅうたくおもや  
旧高橋家住宅主屋、離れ、表門、石垣及び土塀、井戸
- 2 所有者 内子町
- 3 所在地 喜多郡内子町内子 2403 番地
- 4 建設年代 主屋・表門（昭和 26 年頃）、離れ（昭和 3 年頃）、  
石垣及び土塀（江戸後期）、井戸（文政 10 年（1827））
- 5 登録基準
- ・ 国土の歴史的景観に寄与しているもの（主屋、表門、石垣及び土塀）
  - ・ 造形の規範となっているもの（離れ）
  - ・ 再現することが容易でないもの（井戸）

### 6 特徴・評価

日本における、ビール醸造の先駆者、高橋龍太郎の生家。内子町の重要伝統的建造物群保存地区と小田川の間に建つ和洋折衷住宅。広縁付き 12 畳の和室を配する主屋、二階建の離れ、切妻造一間一戸の表門、敷地を囲う石垣及び土塀、井戸からなる。井戸には「文政十丁亥春三月」の刻銘がある。



主屋



離れ



表門及び土塀



井戸